

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 29 年 3 月 1 日

審査機関名： ペリージョンソンレジストラ
クリーンディベロップメントメカニズム株式会社

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	洞爺湖低炭素推進協議会
承認番号	JCDM-PJKC1239
排出削減事業者名	洞爺湖低炭素推進事業
排出削減共同実施事業者名	公益財団法人 北海道環境財団
事業実施場所	① (株) 洞爺山水ホテル (洞爺山水ホテル和風) 北海道虻田郡虻田町洞爺湖温泉 78 番地 ② (株) 洞爺観光ホテル (洞爺観光ホテル) 北海道虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉 33 番地 ③ (株) 大西産業観光 (ホテルグランドトーヤ) 北海道虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉 144 番地 ④ (株) 北海ホテル (北海ホテル) 北海道虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉 147 番地
事業の概要	本事業は、洞爺湖温泉街の旅館・ホテル等において、暖房・給湯に利用していた油焚ボイラーから空気熱源ヒートポンプに更新することで、二酸化炭素排出量の削減を図るものである。
排出削減量の計画	2011 年度：51 tCO ₂ /年、2012 年度-2018 年度：208 tCO ₂ /年 2019 年度：157 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 1,664 tCO ₂)
クレジット認証期間	開始日 2011 年 12 月 1 日 終了予定日 2019 年 11 月 30 日
排出削減方法論	方法論番号 002 ヒートポンプの導入による熱源設備の更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2017年1月1日（第3回実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	673 tCO ₂ （2013年4月1日～2017年1月1日）
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、継続して承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを、現地での目視確認、関係者へのヒアリング及び入手した関連資料より確認した。 1) 承認排出削減事業計画通りに、各事業所においてヒートポンプ設備へと更新され、給湯を自家消費していることを確認した。また、前回実績確認と期間が重複していないことを確認した。 2) 更新後空冷ヒートポンプ式給湯機は実績確認の期間中継続的に稼動していることを、本実績報告対象期間における各事業所の電力指針計読み取り値により確認した。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、事業者への質問、前回の実績確認報告書などにより確認した。 4) その他、本事業の承認排出削減事業計画において、プロジェクトの質に影響する重要な変更が無いことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論に従って算定されていることを確認した。 1) 承認排出方法論及び承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認した。 2) 使用電力量について、各事業所の電力指針計読み取り値を担当者が適切に保管し、使用量の把握・管理が確実になされていることを確認した。 3) 排出削減量の算定式及び算定に使用されている単位発熱量、排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っ

	<p>ており、算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>4) その他、排出削減量の算定において重大な変更がなされていないことを確認した。</p>
算定期間がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	算定期間は、2017年1月1日までであり、認証期間の終了日である2019年11月30日を超えていない。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）
特になし。

6. 特記事項

本モニタリング期間における省エネルギー量について、原油換算 48.2kL であることを確認した。